

若年乳癌患者の臨床病理学的特性と妊娠・出産に関するニーズおよび実態の研究付随若年者に特徴的なバイオマーカーの探索的研究

1. 研究の対象

2018年4月20日～2019年4月19日に国立国際医療研究センターで若年乳癌患者の臨床病理学的特性と妊娠・出産に関するニーズおよび実態の研究に参加された方

2. 研究目的・方法

本研究は、若年乳癌患者の臨床病理学的特性と妊娠・出産に関するニーズおよび実態の研究に参加された患者さんの組織検体を用いて、若年以外のがんと比較して組織に何らかの特徴があるかどうかを調べます。

研究実施期間：倫理審査委員会承認日～2029年4月19日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：若年乳癌患者の臨床病理学的特性と妊娠・出産に関するニーズおよび実態の研究で得られた情報

試料：病理検体

4. 外部への試料・情報の提供

病理検体は筑波大学乳腺甲状腺内分泌外科で保管、解析いたします。研究組織外への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

○代表機関

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科・医長 清水千佳子

○分担機関

筑波大学 乳腺甲状腺内分泌外科 坂東裕子

聖マリアンナ医科大学 乳腺内分泌外科 津川浩一郎

昭和大学 乳腺外科 中村清吾

がん研有明病院 乳腺センター 大野真司

聖路加国際病院 プレストセンター 山内英子

虎の門病院 乳腺内分泌外科 田村宣子

岡山大学 乳腺・内分泌外科 枝園忠彦

九州がんセンター 乳腺科 徳永えり子

国立病院機構大阪医療センター 乳腺外科 増田慎三

関西労災病院 乳腺外科 柄川千代美
博愛会相良病院 乳腺科 川野純子
東北大学病院 乳腺・内分泌外科 多田寛
聖隷浜松病院 乳腺科 吉田雅行
滋賀医科大学医学部附属病院 谷眞至
岐阜大学 腫瘍外科 二村学

6. 利益相反・研究資金について

本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反状態はありません。
利益相反の状況については国立国際医療研究センターにおいては国立国際医療研究センタ
ー利益相反マネジメント委員会、他の施設においては各施設の利益相反マネジメント委員
会に報告し、その指示を受けて適切に管理しております。

また、本研究は次の研究資金により行います。

日本学術振興会平成31年度科学研究費助成事業
基盤研究（C）AYA 世代乳がん患者の女性性サバイバーシップコホート研究と支援モデル
の開発
課題番号 19K10960

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場
合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さん
に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

連絡先：〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 TEL: 03-3202-7181

国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科 清水千佳子

研究責任者：

国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科 清水千佳子

研究代表者：

国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科 清水千佳子